



だての郷通信

ひびき

令和6年11月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 だての郷

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

11月の主な行事

- 11月 6日(木) 秋の歩こう会
- 9日(土) 土曜利用日
- 11日(月)～14日(木) ミニドライブ週間
- 15日(金) 報奨金支給日 合同避難訓練
- 18日(月) ジュース購入日
- 21日(木) 人権擁護研修会
- 27日(水) 11月生まれ誕生会 健康チェック

11月生まれの皆さん

お誕生月おめでとうございます

山口美保さん 原 啓さん
おめでとうございます！11月27日に
誕生会を行います。お楽しみに。

あぶくま祭賑わう



佐藤先生とダンスをする利用者さんたち

10月27日、ほどはら授産所とだての郷の利用者、保護者、職員が一堂に会し、5年振りにあぶくま祭を開きました。今回は、コロナウイルス感染症の心配もあり、内部だけのお祭りとして行いました。当日は曇り空ではありませんでしたが、朝から多くの皆さんに集まっていただき、開会式が行われ、開会のことばをほどはら授産所から菅野カツヨさん、だての郷から後藤勝さんが「これからあぶくま祭を始めます」と述べました。続いて、中木理事長、ほどはら授産所保護者会高橋副会長、だての郷保護者会谷津会長の主催者あいさつがあり、5年振りのあぶくま祭をお楽しみくださいとのお話がありました、そのあと、全員でラジオ体操を行い、さっそく第1部ダンスと合唱の発表が始まりました。



開会のことばを述べる利用者さん



あいさつをする中木理事長



あいさつをする谷津会長



香先生とダンスを踊る利用者さんたち

初めにだての郷の皆さんがステージにあがり、ダンス教室の佐藤香先生といっしょに BTS のパーミッショントウダンスを踊りました。毎月やっているダンス練習の成果が発表されました。つづいてドラえもん の歌やパプリカなどみんなで大きな声で歌いました。きよしのズンドコ節では保護者の皆さんも一緒に歌っていただき、会場からは大きな拍手をいただきました。



ドラえもんも登場、一緒に歌う

ほどはら授産所の発表では、毎週水曜日の朝の会で日頃歌っている楽曲の発表があり、「♪さんぽ」、「♪翼をください」、「♪ああ人生に涙あり」を歌い、最後に保護者の皆さんにも加わっていただき、利用者の佐々木仁志さんのピアノ伴奏で、「♪世界に一つだけの花」を歌いました。こちらも大きな拍手をいただきました。



楽しそうに歌を披露する利用者さんと保護者の皆さん（写真㊤左右と㊦）



客席から歌う皆さんを応援！



ほどはら授産所の合唱発表とミニ花市（写真左右）



ボッチャや輪投げ、フライングディスクを楽しむ参加者の皆さん

閉会式ではスポーツレク大会 MVP を表彰しました

第2部と3部は同時進行で、スポーツレク大会とほどはら授産所の製品販売会を行いました。スポーツレク大会では、ボッチャの的あてゲーム、輪投げ、フライングディスクのストラックアウトと輪くぐしゲームを行いました。各コーナーとも長蛇の列ができるほど多くの皆さんが体験していました。授産品販売コーナーでは、ほどはら授産所の農耕園芸班の花ねと手工芸班の刺し子布巾やトイレットペーパーの販売を行い、こちらも多くの皆さんにお買い求めいただきました。

祭の閉会式はお昼過ぎに行われ、主催者あいさつとレクスポーツ大会の表彰式があり、各種目のMVPの皆さんに賞品が贈られました。

5年ぶりに開いたあぶくま祭は、好天に恵まれ、皆様のご協力により無事終了しました。

グループ活動行おう！

後編

9/19-10/4まで



やってまいりました「道の駅 米沢」(10/1)



潮風が気持ち良かった相馬の浜辺で (10/2)



米沢 サイコー！！ (10/4)



浜の駅で昼食 (10/2)



お屋のランチを食べる利用者さん (10/3) 写真⑤



鳥居の前で、ハイ！ポーズ (10/3)



道の駅でショッピング (10/1)

今年度の「グループ活動」は、9月下旬から10月上旬にかけて行いました。今回は、行き先を「海」か「山」、自分で決めてもらって行く活動にしました。今月号では後半10月に行ったグループを紹介します。

後半のグループは10月1日、3日と4日に米沢方面に、2日に相馬方面に出かけてきました。今回希望地を選んでグループ活動を実施してみて、自分の行きたいところを選び、食べたい食事をとり、その日のグループに応じた行動がとれたことで、多くのみなさんが、終始笑顔で過ごしていただくことができました。次年度以降もこのような機会をもうけていきたいと思います。

施設長就任のごあいさつ



生活介護事業所だての郷
施設長 高橋 健 二

10月1日付で、だての郷施設長の職に就任いたしました。その職の責任の大きさに、今更ながら自分が務まるのか自分でいいのか、戸惑っております。

平成9月4月だての郷開所と同時に生活支援員としてお世話になり、27年余りが過ぎてまいりました。その間、福祉制度も措置から契約に変わり、日々福祉を取り巻く環境が目まぐるしく変化しております。そのため今に対応したサービスの提供が求められていると感じております。

そうした中、だての郷も私も変わる所は変えていき、変わらずにいなければならない所は変わらずに、利用者みなさまが必要とするサービスの提供に努めてまいります。

利用者みなさまとの関わりの中で、支援の『気づき』をいただき、保護者みなさまからご指導を賜り、職員一人ひとりが自分らしさを業務に発揮できる環境を作っていくことで、だての郷に関わるみんなが生き生きできるのではないかと感じています。

私一人で、できることはたかが知れています。利用者みなさま、保護者みなさまと職員みなさま、それぞれの力をいただきながら、よりよりだての郷運営に励んでいく所存です。重ね重ね何卒よろしくお願い申し上げます。

グループホーム
スクラム便り
11月号

不定期ですが、グループホームスクラムの様子を紹介するコーナーです。今回は中木管理者から引き継いだ鈴木管理者の就任のごあいさつを掲載しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理者就任のごあいさつ



グループホームスクラム
管理者 鈴木 信 行

10月1日付けでグループホームスクラムの管理者に就任いたしました、鈴木信行です。

これまでグループホームを利用される皆さんが安心して生活を続け、自立に向け頑張ることが出来るよう支援を行って参りました。グループホームは、地域の中で必要な支援を受けながら自立を目指す場です。皆さんの生活の様子をそばで見ると、仲間を思いやり協力することを通し成長し、自ら掃除や洗濯、食事の準備を行い、少しずつ出来ることが増え自信が持てるようになる姿を見てきました。自信と自立心の高まりは次の更なる要望に繋がってゆきます。

今後も利用者さんの「出来る」を増やし「自立」が進むよう、そして、新たな希望をお聞きし地域の中で「一人一人が自分らしく自由な生活」となりますよう支援して参りますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

10月生まれ誕生会開く！



誕生月を祝ってもらった鈴木さん(左)と井上さん

10月23日、水曜日に10月生まれの誕生会を開催しました。10月生まれは鈴木康展さんと井上美和さんのお二人です。みんなで歌と『丹波栗のプリン』でお祝いしました。お二人とも、これからも元気に笑顔いっぱいにご過ごしていきましょう。

芋ほり体験楽しむ！！



芋ほり体験をした利用者さん（写真上4枚）と収穫したサツマイモ（右下）

10月21日の月曜日の午後、施設裏の実習畑で、サツマイモ収穫体験を行ないました。この時期には温かな陽気の下、施設北側の畑で、これがサツマイモ？と思うくらい巨大なものから可愛らしい小さめなものまで、さまざまな個性あふれたサツマイモを収穫することができました。

避難訓練で消火体験



職員といっしょに消火体験をする利用者さん

10月15日に避難訓練を実施し、利用者さんたちは消火体験をしました。これは、伊達地方消防組合中央消防署から「水消火器」と火元となる「的」を借りて、定例の避難訓練終了後に行ったもので、施設職員と利用者さんが消火体験をしました。

体験した利用者さんらは、職員のサポートを受けながら、的にめがけて消火作業を行なうことができました。「火事を起こさないことが一番ですが、万が一に備えて慌てず行動できるようにしてください」と訓練を通じて利用者さんに呼びかけました。

今年度第3回目の食育コラムです。

11月7日は立冬、暦の上では冬ですが、今は実りの秋のど真ん中。冬に向かう体づくりにぴったりの食べ物のお話と、11/24の和食の日になんだお話など、今の時期にタイムリーな話題を穴戸係長さんに書いていただきました。



株式会社メフォス 福島事業部
福島事務所 3課3係
係長 穴戸 和江



実りの秋

秋はお米やイモ類、木の実やきのこ・色々な作物が実時期です。秋の野菜や果物には脂肪分や糖が多く含まれている為、冬に向けて栄養を蓄える事が出来ます。きのこには、ビタミンや食物繊維が多く含まれ、カラダの調子を整える役割があります。旬の美味しいものをたくさんいただいて、寒い冬に向けて支度をしましょう。

11月24日 (いいにほんしょく)



和食の日

11月24日は「いい日本食」の語呂合わせで『和食の日』に制定されています。

和食が「日本の伝統的な食文化」である事、「世代をこえて受け継がれ、地域の結びつきを強めている」ことから「ユネスコ無形文化遺産」に登録されています。日本の慣習や、式、気候に根付いた食文化の価値が世界的に認められた結果です。ご家庭で食卓を囲み、一緒に語り、食事を摂ることで次世代へ和食文化を継承していくことになるのです。

立冬



季節の変わり目で昼夜の寒暖差が厳しい頃、体調管理をしっかりと冬に備えましょう。

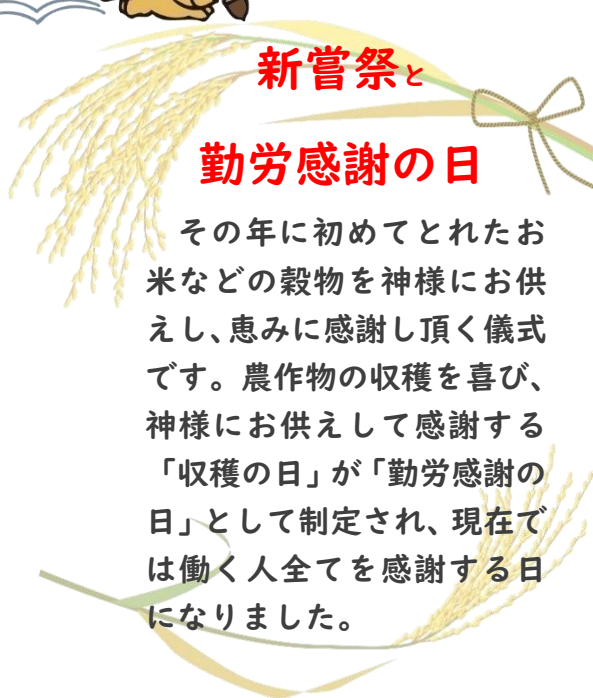
私たちの身体は体温が下がると免疫力も落ちやすくなります。身体の中から温める食材を積極的に取り入れたり、温かい飲み物を摂るなどしてこれからの寒い時期をのりきりましょう。地中で育つものは身体を温めるといわれています。

また、発酵食品は代謝をよくする酵素が含まれているため、身体を温める効果が期待できます。

新嘗祭と

勤労感謝の日

その年に初めてとれたお米などの穀物を神様にお供えし、恵みに感謝し頂く儀式です。農作物の収穫を喜び、神様にお供えして感謝する「収穫の日」が「勤労感謝の日」として制定され、現在では働く人全てを感謝する日になりました。



本年度後期に向け法人人事体制再編 理事会評議員会で承認



理事会で質問に答える中木理事長



評議員会の開会の様子

業務執行理事就任のごあいさつ



あぶくま福祉会業務執行理事
佐藤典昭

このたび、10月1日の理事会において業務執行理事に任命されました佐藤典昭です。あらためて職責の重さを日ごとに感じております。

私は、当法人ほどはら授産所に就職して以来、利用者の皆さんとともに生産活動の園芸部門に携わって参りました。

私は、「育」という言葉をモットーにしています。利用者が育つ、花を育てる、仲間に育まれるなど「育」は、手をかけて成長を助ける、大切に守って発展させることの意味があります。種をまき、植替えを行い、水や肥料を与え、日々の小さな生長があって自ら花が咲くように、私たちの一歩ずつの支援の積み重ねが大切で、利用者皆さんの大きな成長と自立につながると感じています。今後も「そだつ・そだてる・はぐくむ」の思いで、法人の円滑な運営に努めて参りますので、保護者・家族・職員・地域皆様のご協力と、ご支援を賜りますようお願いいたします。

9月12日、本年第4回理事会において、熊坂久也業務執行理事の辞任、新たに佐藤典昭ほどはら授産所次長と高橋健二だての郷次長の理事推薦、熊坂だての郷施設長の退任と高橋新施設長の選任、だての郷とほどはら授産所、よつばの補正予算の承認が審議され、いずれも承認又は議決され、一部を除き評議員会に送られました。そして同月29日の本年第3回評議員会にて補正予算、だての郷施設長の退任と選任、新理事2名の選任について審議、原案どおり議決を得ました。

10月1日には本年第5回理事会を開き、業務執行理事選任について審議され、佐藤理事が業務執行理事に選任されました。

10月1日付けで人事異動を行い、下記の職員が、昇任、配置換えになりました。

本部事務長兼ほどはら授産所サービス管理責任者	佐藤典昭
だての郷施設長兼同所サービス管理責任者	高橋健二
ほどはら授産所次長兼スクラム管理者	鈴木信行
ほどはら授産所職業指導員兼スクラムサービス管理責任者	松浦幹樹
だての郷 主任	木村光永
だての郷 生活支援員	木村千賀子
ほどはら授産所 職業指導員	熊坂正俊

編集後記 / 5年振りのあぶくま祭の様子を特集しました。この日の天候は朝曇り空でしたが、だんだん晴れてきて温かい日和になり、多くの保護者の皆さんにお集まりいただき開催することができました。各施設それぞれ趣向を凝らし、素晴らしい発表ができました。だての郷では、日頃のダンス活動の成果や合唱を披露、保護者会の皆さんにもご協力いただき、いい発表ができました。ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします▼今月号は、話題盛りだくさんで、前号に続き発行が遅れてしまい、申し訳ありませんでした。次号は早くお届けしたいと思います▼インフルエンザの季節になりました。早めの予防接種で罹患防止を (M)